

# 第6回 鋼構造技術継承講演会

～経験豊富な先人に学ぶ次世代への承継技術～



行事コード：25820 略称：6回鋼構造技術継承

先人の多大な努力により建設・管理がなされてきた多くの鋼構造物は、社会基盤を構成する重要な構造物として、今後もその役割を担い続けていくと考えられます。一方国土交通省では、社会基盤を構成している構造物だけでなく広く全体を俯瞰し、国民の安全・安心の確保に係る様々な課題や持続的な経済成長のために取り組む課題に対して、「国土交通省重点政策 2016」を策定し施策の方向性を示しています。例えば、重点的に取り組む施策として大きく2つ、「安全安心の確保」、「経済成長の牽引」を掲げています。「安全安心の確保」では、南海トラフ、首都直下地震対策等の推進、メンテナンス産業の育成・拡大、公共施設等の老朽化対策など産官学による取り組みを推進しています。一方「経済成長の牽引」では、国際競争力の強化と新市場の開拓として、「質の高いインフラ輸出拡大イニシアティブ」を発表し、高い技術力や使いやすく長寿命であるといったハード面だけでなく、人材育成や制度構築支援などソフト面の支援、さらには企業の海外進出を積極的に支援するなどに取り組んでいます。

このような状況下、鋼構造委員会では2つの内容に焦点をあて今回の講演会を企画しました。なお本講演会は、毎回、大先輩の技術者、研究者の方々に、研究面および技術面における豊富な経験を、現役および次世代を担う技術者、研究者の方々に技術伝承するための講演をしていただいております。第6回となる今年度は、まず「安全・安心の確保の観点」として、鋼橋の構造・設計合理化の推進や性能照査型設計基準の整備など技術的な側面から長岡技術科学大学名誉教授長井正嗣先生にご講演を、また「企業の海外進出」との観点から、現在海外でご活躍されていますオリエンタルコンサルタントグローバルの大橋様に、ご経験を踏まえ海外を目指す技術者にメッセージ的なご講演をそれぞれ頂く予定です。

両氏のご講演は、新設・新設を問わず鋼構造物が直面しているハード面や人材育成・制度構築などソフト面それぞれについて、数々の課題や疑問の解決に大きく役立つでしょう。参加費は無料です。奮ってご参加下さい。

なお、講演会終了後に、講演者の方々を囲む懇談会を予定しておりますので、こちらにもお気軽にご参加下さい。

- ・主 催

土木学会（担当：鋼構造委員会）

- ・日 時

2018年12月17日（月） 14：30～17：20

- ・場 所

土木学会講堂（〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目外濠公園内）

- ・参加費

無料

- ・申込締切日

2018年12月13日（木）（申込先着順で100名まで）

- ・参加申込（講演会のみであり、懇談会は申込み制ではございません）

参加をご希望される方は、以下のサイトからお申込みをお願いいたします。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

ご登録いただきましたメールアドレス宛に開催日前までにメールにより参加券をお送りいたしますので、印刷して、当日ご持参ください。

申込後、キャンセルをされる場合は必ず参加申し込み終了前までに事務局宛にご連絡ください。ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

<お問合せ先>

土木学会事務局研究事業課 尾崎史治

TEL : 03-3355-3559

メール : [fumiharu-ozaki "at" jsce.or.jp](mailto:fumiharu-ozaki@jsce.or.jp) “at” を@に変更してメールして下さい

・ 詳細 (プログラム)

14 : 30 ~ 14 : 35 鋼構造委員会委員長挨拶

14 : 35 ~ 15 : 50 長井正嗣氏 : 「(仮) 鋼橋の構造・設計合理化」

15 : 50 ~ 16 : 00 休憩

16 : 00 ~ 17 : 15

大橋治一氏 : 「(仮) アメリカ, ベトナム, スリランカから海外と日本のコンサルタントの違い」

17 : 15 ~ 17 : 20 鋼構造委員会副委員長挨拶

懇談会 (会費制 : 4,000 円/人)

場 所 : 土木学会近隣

時 間 : 17 : 30 ~ 19 : 30

\*本講演会は CPD 認定プログラムです (2.7 単位)